

肺機能検査

検査の流れ

1. 椅子に座っていただき、マウスピースという筒をくわえます。
2. 鼻から息がもれないように、鼻をノーズクリップでつまみます。
3. 検査者の指示に従って、息を吸ったり、吐いたりしていただきます。
「肺活量」と「努力性肺活量」の2種類の検査を行います。

※マウスピースは空気がもれないように、しっかりと口にくわえてください。
※正確な結果を得るためには、最大限の努力をして検査に望んでいただきます。



限界まで息を吸ったり、吐いたりしていただきますので、きつい検査だと思いますが、一緒に頑張りましょう！



注意事項

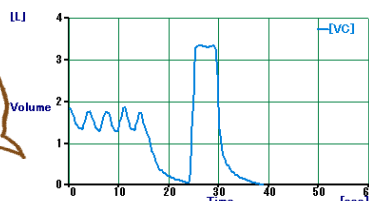
- ①検査前の喫煙は咳が出やすくなりますので、お控えください。
- ②入れ歯は、はずしていただく場合があります。

Q.何がわかる検査ですか？

息切れ、呼吸が苦しい、咳が出る、痰が出るなどの原因が肺の病気によるものかどうかわかります。空気を吸い込める量が少なくなっていないか、息を吸ったり、吐いたりする力が弱くなっていないかを見ていきます。

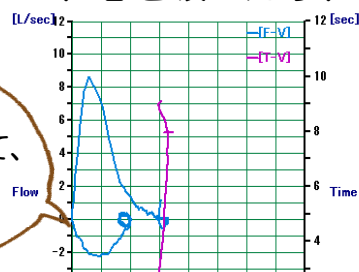
肺活量

息を最大限まで吸って、ゆっくり吐き出した空気量がわかります



努力性肺活量

息を最大限まで吸って、一気に吐き出した空気量がわかります



Q.検査時間はどのくらいですか？

15～30分程度です。